

# Our Pride

第 534 号 令和 5 年 7 月 15 日発行

## ボランティア部

### 2023 年 6 月号

## 委託販売

共栄学園中学高等学校 ボランティア部顧問

鈴木明子さん

ラリグラス・ジャパンを知ったきっかけを教えてください

レスキュー・ファンデーションの代表トリベニさんが東京大学で講演会をした際、知人の勧めで参加し、初めてラリグラス・ジャパンさんの活動を知りました。その後、『少女売買』を読み、スタディツアーに参加させていただきました。

委託販売を始めたきっかけや経緯について

ボランティア部という名称ですが、固定の部員はおらず、その都度企画ごとに参加者を募ります。17年の文化祭では、国際支援の一環として助けを必要としている海外の子どもたちに学用品などを支援する活動をしたいと生徒から相談されました。ミサンガを作って売りたいとのことでしたが、折角なのでミサンガだけではなく以前より交流のあったラリグラス・ジャパンさんに依頼し、委託販売もさせていただきました。その年はミサンガだけで10万円以上の収益を上げました。以後、ミサンガから募金ガチャガチャに変更しつつ、委託販売とともに細々と継続しています。20年12月には高校生ボランティア・アワードで表彰状をいただきました。



文化祭に初出店の時

どのように販売をされていますか？

商品だけではなく、なぜこの委託販売をしているのかを説明しています。ネパールという国の現状やマイティ・ネパール、ホスピスおよびレスキュー・ファンデーション、NDWS等について掲示をし、商品一つ一つにエピソードトークをするなど、買ってくれた方の記憶に残り、支援が継続するように心がけています。毎年楽しみに見に来てくれる方も出てきました。

委託販売のやりがいは何？

現金化される達成感が一番嬉しく感じます。なかなか売れない商品も、手に取って直接お話をしながら勧めること買ってくれることがあります。特に、ホスピスの方が作った作品が売れるとすごく嬉しく、説明に熱が入ってしまいます。人と人を繋ぐそんな瞬間にやりがいを感じます。

次回の販売のご予定があれば教えてください。

23年度の文化祭で販売予定です。

生徒さんと共に支援を継続して下さることに、心より感謝申し上げます。



'22年度に販売を担当してくれた生徒さん

## 文化祭での継続的な委託販売活動に関して、NPO 法人「ラリグラス・ジャパン」の機関雑誌に紹介されました

フェアトレード商品の委託販売は2017年から継続して行ってきました。学校関係者の皆様にはいつも活動にご協力いただき感謝しています。今回、この様な形で学校での取り組みを載せていただいたことをとても嬉しく思っています。

文化祭での販売は普段より価格をだいぶ下げさせていただいており、収益としては大きくない活動です。けれども、世界の助けを必要としている人々をより身近に感じるきっかけになると思って継続しています。今年度も文化祭に出店予定ですので、ぜひご支援ください。

当日販売のお手伝いボランティアも募集しています。 ボランティア部顧問 鈴木 明子